

2024 秋  
おかやま  
民俗芸能  
フェスティバル

令和6年度 岡山県民俗芸能大会



おかやま教育の日協賛事業  
おかやま県民文化祭参加事業



2024 秋  
おかやま  
民俗芸能  
フェスティバル

令和6年度 岡山県民俗芸能大会

令和6年 11月24日 [日]  
13時～ (開場12:30)

ふれあい交流館「サンパレア」  
(浅口市寄島町16091-23)

入 場 無 料

演目等

- ひがさき踊り (金光町佐方) (浅口市)
- 高田神社獅子舞 (津山市)
- 吉川八幡宮当番祭 (吉備中央町)
- 白石踊 (笠岡市)

解説：くらしき作陽大学 田中英機

主催 岡山県民俗芸能大会実行委員会  
共催 岡山県教育委員会、浅口市教育委員会、岡山県文化財保護協会  
後援 津山市、吉備中央町教育委員会、笠岡市教育委員会、(公社)岡山県文化連盟、(公財)岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち  
助成 令和6年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)、(一財)岡山県教育職員互助組合、(公財)日本教育公務員弘済会岡山支部

問合せ先

岡山県教育庁文化財課内 岡山県民俗芸能大会実行委員会事務局

〒700-8570 岡山市北区山下2-4-6 TEL: 086-226-7601 FAX: 086-224-5591

E-mail: bunka@pref.okayama.lg.jp

問合せ先

岡山県教育庁文化財課内 岡山県民俗芸能大会実行委員会事務局

〒700-8570 岡山市北区山下2-4-6 TEL: 086-226-7601 FAX: 086-224-5591 E-mail: bunka@pref.okayama.lg.jp

ひがさき踊り こんこうちょうさがた  
(金光町佐方)

佐方ひがさき踊り保存会／浅口市

浅口市金光町佐方地区に伝わる踊りで、昭和30年に旧金光町の無形民俗文化財に指定されました。この踊りは、大永4年(1524)8月に藤沢兵部大輔の祖父秀信が、信州諏訪大社の分霊を佐方地区に勧請した際に、地元民が祭神を迎えるためと五穀豊穡を祈願して踊ったのが起源とされています。毎年8月26日夜に、地元の諏訪神社例祭「ボウブラ祭り」に奉納されています。当踊りは、地踊り・合わせ踊り・組踊り・扇子踊りから構成され、その特徴は六拍子のゆったりとした優雅な踊りです。



## 吉川八幡宮当番祭

吉川八幡宮文化財保存会／吉備中央町

当番祭は、吉川八幡宮(岡山県加賀郡吉備中央町吉川)の秋の大祭です。毎年10月初旬から10月下旬まで1ヶ月近く神事が続く祭りで、岡山県指定重要無形民俗文化財に指定されています。吉川地区内の10歳前後の2名の男児が神人である当番となり、第4日曜日に大祭が行われ、馬に乗った当番を中心とした「行列」が神社に参拝します。また、日々練習した「祭りばやし」「獅子舞」を神社に奉納します。本日は、大祭の様子を皆さんに披露します。



## 高田神社獅子舞

高田神社横野獅子舞保存会／津山市

高田神社の獅子舞は、伝承によると、和銅6年(713)に美作国府が開設されて以来、毎年9月9日に美作11社の神々が総社に神幸したときからこれに加わっていたといわれています。文化・文政期から明治期にかけてはとくに盛んで、人々に悪魔払いとして信仰を受けて来ました。この獅子舞には、獅子頭と呼ばれる指揮者がいて、獅子を使う技術と人物を見込んで氏子たちが選出します。現在では、毎年7月の納涼祭と、10月の例大祭において奉納されています。



## 白石踊

白石踊会／笠岡市

笠岡諸島の白石島に古くから伝わる盆踊りで、昭和51年に国の重要無形民俗文化財に指定され、令和4年には風流踊としてユネスコの無形文化遺産に登録されました。もとは、「え こうおどり回向踊」とも呼ばれ、先祖の霊を供養するための踊りでした。その起源は、源平水島合戦の戦死者の霊を弔うために始まったともいいます。一つの音頭と太鼓に合わせて何種類もの踊りを踊る点が特徴で、おとこおどり おんなおどり むすめおどり かさおどり やっこおどり ふた びょうし男踊、女踊、娘踊、笠踊、奴踊、二つ拍子など、13種類の踊りが伝わっています。本日は、「那須与一」の音頭に合わせて、6種類の踊りを披露します。

